

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2025年第38週
(9月15日～9月21日)

- * 2025年9月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「再興する百日咳とワクチン戦略の展望」も掲載しています。

令和7年(2025年)9月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類～四類)

2025年38週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		35週	36週	37週	38週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	42	37	46	29	1,404
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}					
	中東呼吸器症候群 ^{*2}					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					
	細菌性赤痢				1	10
	腸管出血性大腸菌感染症	23	22	17	13	323
	腸チフス		2			5
	パラチフス	1				4
四類	E型肝炎	2	1	1	1	107
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎		1			13
	エキノкокクス症					2
	エムボックス					2
	黄熱					
	オウム病					1
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					1
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					2
つつが虫病					5	
デング熱	1		2	1	38	
東部ウマ脳炎						
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		35週	36週	37週	38週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア					7
	野兔病					
	ライム病					1
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
	レジオネラ症	6	1	3	6	127
レプトスピラ症		1			2	
ロッキー山紅斑熱						
2025/9/24集計						

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

<二類感染症>

結核 29件(うち死亡 1件) 患者 22件(肺結核 19件、その他の結核 3件)、無症状病原体保有者 7件、年齢は5歳未満 1件、20代 6件、30代 2件、40代 2件、50代 6件、60代 2件、70代 1件、80代 5件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 17件、ネパール 2件、インドネシア 1件、国内又はタイ 1件、不明 8件であった。

<三類感染症>

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はsonnei (D群)、年齢は20代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。
腸管出血性大腸菌感染症 13件 患者 5件、無症状病原体保有者 8件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O26 VT(型不明) 1件、O103 VT1 3件、O145 VT2 1件、O157 VT1・VT2 3件、O157 VT1 1件、血清型不明VT1 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は5～9歳 1件、20代 2件、30代 6件、40代 1件、50代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 7件、不明 6件、推定感染経路は経口感染 3件、不明 10件であった。

<四類感染症>

E型肝炎 1件 患者、年齢は50代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。
デング熱 1件 患者、病型はデング熱、血清型は不明、年齢は20代、推定感染地はベトナムであった。
レジオネラ症 6件 患者 6件、病型は肺炎型 6件、年齢は50代 2件、60代 3件、80代 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は水系感染 2件、塵埃感染 1件、不明 3件であった。

<五類感染症>

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。
クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 病型は孤発性-古典型CJD、年齢は80代であった。
後天性免疫不全症候群 2件 病型は無症候キャリア 1件、その他 1件、性別は男性 2件、年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地はバングラデシュ 1件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 1件であった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類)

2025年38週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		35週	36週	37週	38週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	2	3	2	1	69
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1	3		45
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	3		101
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)					1
	急性脳炎*	1		1		26
	クリプトスポリジウム症		1			5
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	2		105
	後天性免疫不全症候群	5	8	9	2	193
	ジアルジア症					13
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2		1	56
	侵襲性髄膜炎菌感染症				1	13
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	3	2	292
	水痘(入院例に限る)	3	1	4	2	81
	先天性風しん症候群					
	梅毒	59	68	59	67	2,616
	播種性クリプトコックス症			2		16
	破傷風					6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			8
百日咳	240	213	172	128	6,004	
風しん					2	
麻しん		1			30	
薬剤耐性アシネトバクター感染症			1		2	
2025/9/24集計						

* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症 1件 血清群は未実施、年齢は50代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明、共同生活は無しであった。

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 血清型は未実施 2件、年齢は5歳未満 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明4回接種済み1件、価数不明1回接種済み1件であった。

水痘(入院例) 2件 病型は検査診断例 2件、年齢は10代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、水痘ワクチン接種歴は1回接種済み 1件、不明 1件であった。

梅毒 67件 患者 52件(早期顕症梅毒 I 期 30件、早期顕症梅毒 II 期 21件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 15件、性別は男性 52件、女性 15件、年齢は10代 1件、20代 19件、30代 20件、40代 10件、50代 11件、60代 5件、70代 1件、推定感染地は国内 56件、不明 11件、推定感染経路は性的接触 59件(同性間 16件、異性間 39件、両性間 1件、性別不明 3件)、不明 8件であった。

百日咳 128件 年齢は0歳 3件、1~4歳 7件、5~9歳 37件、10代 42件、20代 11件、30代 13件、40代 6件、50代 5件、60代 2件、70代 2件、推定感染地は国内 110件、不明 18件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回以上接種済み 66件、3回接種済み 4件、接種なし 6件、不明 52件であった。

※第36週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 2件、梅毒 3件の追加報告があった。

※第37週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔五類〕劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、水痘(入院例) 2件、梅毒 16件、百日咳 14件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2025年38週

上段: 報告数 下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2025年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		35週	36週	37週	38週		
小児科	RSウイルス感染症	317	359	375	332	261	264
		1.21	1.37	1.43	1.27		
	咽頭結膜熱	70	71	61	56		
		0.27	0.27	0.23	0.21		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	404	441	494	350		
		1.54	1.68	1.88	1.34		
	感染性胃腸炎	1,126	1,280	1,381	1,159		
		4.28	4.87	5.25	4.44		
	水痘	67	60	37	62		
		0.25	0.23	0.14	0.24		
	手足口病	150	156	154	127		
		0.57	0.59	0.59	0.49		
	伝染性紅斑	83	76	73	62		
		0.32	0.29	0.28	0.24		
突発性発しん	67	86	90	83			
	0.25	0.33	0.34	0.32			
ヘルパンギーナ	397	370	345	262			
	1.51	1.41	1.31	1.00			
流行性耳下腺炎	18	13	9	14			
	0.07	0.05	0.03	0.05			
川崎病 *1	4	5	6	5			
	0.02	0.02	0.02	0.02			
不明発しん症 *1	35	33	52	33			
	0.13	0.13	0.20	0.13			
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ *2	99	161	278	416	416	419
		0.24	0.39	0.67	1.00		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	1,930	1,664	1,852	1,688		
		4.63	3.98	4.43	4.06		
急性呼吸器感染症 (ARI)	18,771	19,468	22,834	20,863			
	45.01	46.57	54.63	50.15			
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	34	43	44	34		
		0.87	1.10	1.13	0.87		
基幹	細菌性髄膜炎 *3					25	25
	無菌性髄膜炎			1	1		
				0.04	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	9	16	13	11		
		0.36	0.64	0.52	0.44		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		2	2			
			0.08	0.08			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	1			1		
0.04				0.04			
インフルエンザ入院	4	2	5	7			
	0.16	0.08	0.20	0.28			
COVID-19入院	90	71	64	82			
	3.60	2.84	2.56	3.28			

2025/9/24 13:00集計

- *1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
- *2 鳥インフルエンザを除く。
- *3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
- *4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

・インフルエンザの定点当たり報告数は1.00で、前週よりも増加しています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2025年38週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	17			25		1		2	3			2
6～11か月	56	3	3	74		17		10	34			3
1歳	155	18	12	154	3	39	4	44	84		2	11
2歳	69	11	17	129	4	22	8	17	48		1	6
3歳	16	7	31	91	8	9	9	5	27	1		1
4歳	7	4	34	96	5	8	18	4	20	2		2
5歳	4	3	51	91	7	12	13		15	4		3
6歳	4	4	34	86	3	9	5	1	11	2	1	
7歳		1	38	50	6	5	3		3		1	1
8歳		1	26	69		1	2		7	1		3
9歳	4		31	48	3	1			1	2		
10～14歳		1	41	120	19	3			3	2		1
15～19歳		1	11	30	3				3			
20～29歳		2	21	96	1				3			
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	332	56	350	1,159	62	127	62	83	262	14	5	33
先週比	-43	-5	-144	-222	25	-27	-11	-7	-83	5	-1	-19

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性呼吸器感染症(ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月		15	1,396				1					1
6～11か月	1	22										
1歳	8	26	7,612		1					1	1	
2歳	8	15			1							
3歳	16	11			3			2				
4歳	13	12			2							
5歳	24	18	4,708					2				
6歳	31	16						1			1	
7歳	15	21										1
8歳	16	23									1	3
9歳	14	42			2							
10～14歳	122	271	2,060		3			3			1	2
15～19歳	72	224	863									1
20～29歳	25	133	703		2						1	1
30～39歳	15	156	916		8			1				1
40～49歳	16	220	815		6			1			1	5
50～59歳	10	190	694		3							
60～69歳	5	122	475									10
70～79歳	3	84	368		3			1			1	29
80歳以上	2	67	253									27
合計	416	1,688	20,863		34		1	11		1	7	82
先週比	138	-164	-1,971		-10			-2	-2	1	2	18

注:急性呼吸器感染症(ARI)の10歳未満は「0歳」「1～4歳」「5～9歳」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2025年38週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	0.67			1.67					0.67			
中央区	0.67		0.33	5.67	0.67	0.67	0.67	0.33	1.67			
みなと	1.17	0.83	0.67	3.33	0.33	0.33		0.33	1.33			
新宿区	0.13		0.75	2.25	0.13	0.13		0.13	0.38			
文京	1.00	0.25	1.00	6.75	1.00	0.25	0.50	0.50	1.75			0.25
台東	1.25		2.00	14.00		0.25	0.50		3.75	0.25		0.50
墨田区	1.00		0.20	0.80	0.20	0.20			1.40			0.20
江東区	1.44	0.44	1.00	6.78		1.22	0.22	0.67	1.11	0.11		
品川区	1.88	0.13	0.13	1.63		0.25	0.13	0.13	0.25	0.25		
目黒区	1.00		0.60	2.40		0.20	0.20		1.00			0.40
大田区	1.85	0.46	1.69	5.77	0.08	0.23	0.31	0.15	1.00			0.08
世田谷	1.27	0.27	0.47	2.87	0.13	0.47	0.13	0.47	1.53	0.13		
渋谷区	0.75		0.25	4.00				0.50				
中野区	0.67		2.33	5.67	0.67	1.17		0.33	1.00			
杉並	1.09	0.09	0.36	3.82	0.09	0.45		0.27	0.91			0.09
池袋	1.80	0.20	1.00	1.60	0.40				1.20			
北区	1.43	0.14	1.71	3.57	0.57	0.43	0.57	0.57	0.71	0.14		
荒川区	4.75	1.25	1.75	4.25	0.50	1.00	0.50	0.75	2.50		0.25	0.25
板橋区	1.00		0.60	3.50	0.30		0.20	0.10	0.40			
練馬区	0.69	0.08	1.38	4.00	0.46	0.23		0.31	0.69	0.08	0.15	0.46
足立	2.42	0.58	1.58	3.00		0.58	0.42	0.75	0.67			0.17
葛飾区	0.25		1.25	2.13	0.13	0.38		0.25	0.50			0.13
江戸川	0.92	0.50	1.25	3.25	0.17	0.17	0.17	0.08	0.75	0.08		0.08
八王子市	1.91	0.18	2.91	5.00	0.73	1.09	0.73	0.18	1.36		0.09	0.09
町田市	2.63	0.13	4.50	15.50	0.25	0.50	0.63	0.88	1.63			0.25
西多摩			1.43	2.00	0.29		0.14	0.14				
南多摩	0.89		0.89	3.67	0.22	0.44	0.33	0.11	0.33			
多摩立川	0.86	0.36	1.79	3.86	0.21	1.00	0.21	0.21	0.50	0.14		
多摩府中	1.19	0.24	1.90	3.62	0.29	0.43	0.19	0.57	1.48	0.10	0.05	0.14
多摩小平	1.67		1.47	8.73	0.07	1.20	0.47	0.27	1.47			0.53
島しょ										1.00		
東京都	1.27	0.21	1.34	4.44	0.24	0.49	0.24	0.32	1.00	0.05	0.02	0.13

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
千代田	1.00	3.50	27.25									0.50
中央区	2.00	3.00	47.20		1.00							
みなと	1.67	2.44	46.11									3.00
新宿区		2.33	19.58		0.50							2.00
文京	1.29	5.43	77.57									13.00
台東	0.14	1.43	51.86									
墨田区	0.63	4.25	17.00					2.00				2.00
江東区	2.57	3.71	59.57		1.00							
品川区	0.58	2.25	28.50		1.00							
目黒区	1.00	2.88	33.88									
大田区	0.43	3.24	33.95		2.00							
世田谷	1.00	3.46	46.63		2.50			0.50			1.00	2.00
渋谷区	1.43	3.86	28.00				1.00					4.00
中野区	1.60	5.30	98.00									
杉並	0.82	3.82	28.82					1.00				2.50
池袋	0.75	3.38	52.38		2.00			1.00				
北区	0.55	6.09	46.00									
荒川区	1.43	4.57	75.14		1.00							
板橋区	0.44	4.56	36.94		0.50			1.00				3.00
練馬区	1.00	4.43	43.48		1.50							
足立	1.74	5.63	57.00		0.50							
葛飾区	0.77	3.54	40.92							1.00	2.00	3.00
江戸川	0.63	4.63	49.26									
八王子市	1.11	5.89	105.22									4.00
町田市	1.92	3.46	99.23									
西多摩	0.23	2.92	23.23									3.00
南多摩	1.07	5.36	48.00		4.00							
多摩立川	0.33	4.29	32.24		1.50							1.00
多摩府中	1.18	3.82	60.61		0.33			0.67			0.33	5.00
多摩小平	1.48	4.83	65.17		2.50			0.50			1.00	8.50
島しょ		2.50	20.50					1.00				

東京都	1.00	4.06	50.15		0.87		0.04	0.44		0.04	0.28	3.28
-----	------	------	-------	--	------	--	------	------	--	------	------	------

注: 表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2025年38週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	2			5					2			
中央区	2		1	17	2	2	2	1	5			
みなと	7	5	4	20	2	2		2	8			
新宿区	1		6	18	1	1		1	3			
文京	4	1	4	27	4	1	2	2	7			1
台東	5		8	56		1	2		15	1		2
墨田区	5		1	4	1	1			7			1
江東区	13	4	9	61		11	2	6	10	1		
品川区	15	1	1	13		2	1	1	2	2		
目黒区	5		3	12		1	1		5			2
大田区	24	6	22	75	1	3	4	2	13			1
世田谷	19	4	7	43	2	7	2	7	23	2		
渋谷区	3		1	16				2				
中野区	4		14	34	4	7		2	6			
杉並	12	1	4	42	1	5		3	10			1
池袋	9	1	5	8	2				6			
北区	10	1	12	25	4	3	4	4	5	1		
荒川区	19	5	7	17	2	4	2	3	10		1	1
板橋区	10		6	35	3		2	1	4			
練馬区	9	1	18	52	6	3		4	9	1	2	6
足立	29	7	19	36		7	5	9	8			2
葛飾区	2		10	17	1	3		2	4			1
江戸川	11	6	15	39	2	2	2	1	9	1		1
八王子市	21	2	32	55	8	12	8	2	15		1	1
町田市	21	1	36	124	2	4	5	7	13			2
西多摩			10	14	2		1	1				
南多摩	8		8	33	2	4	3	1	3			
多摩立川	12	5	25	54	3	14	3	3	7	2		
多摩府中	25	5	40	76	6	9	4	12	31	2	1	3
多摩小平	25		22	131	1	18	7	4	22			8
島しょ										1		
東京都合計	332	56	350	1,159	62	127	62	83	262	14	5	33

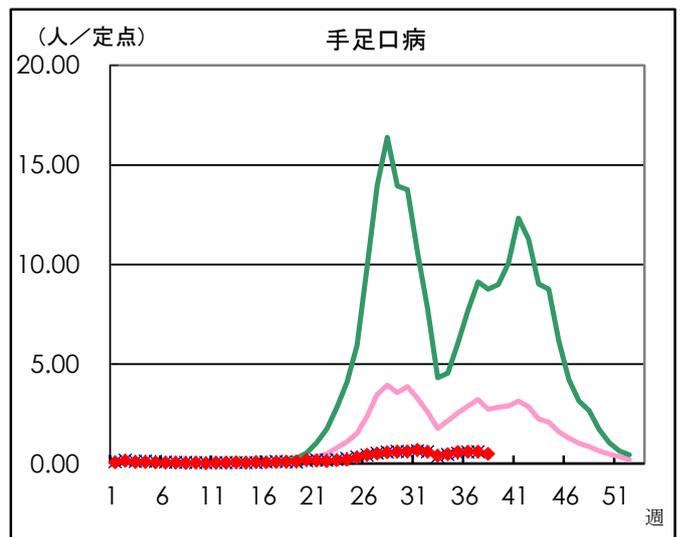
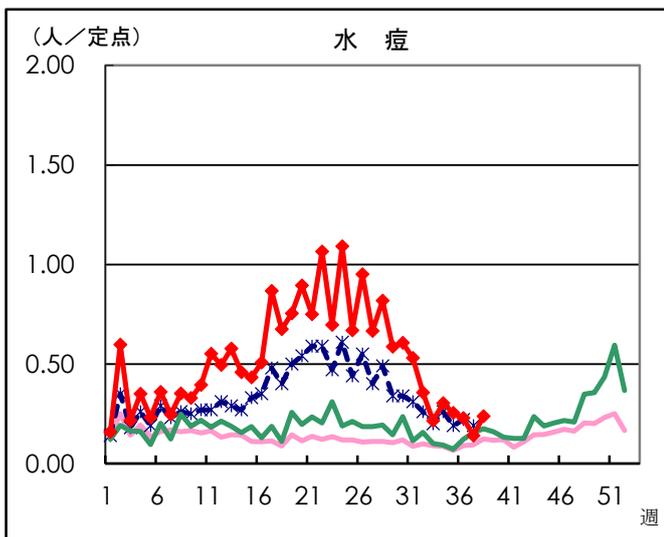
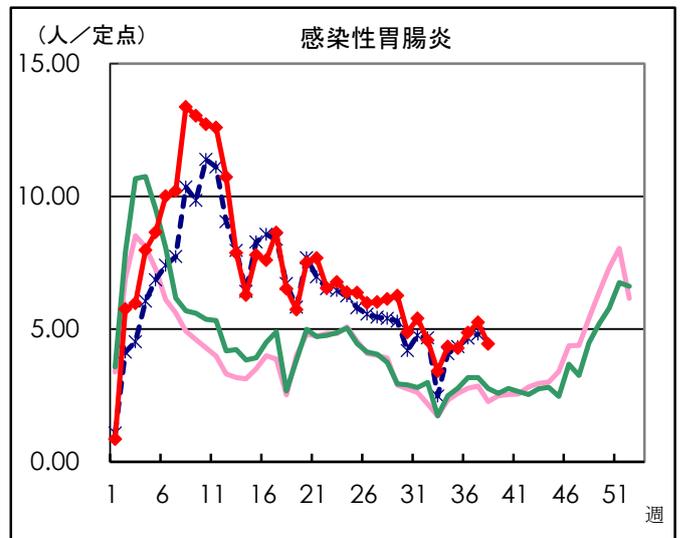
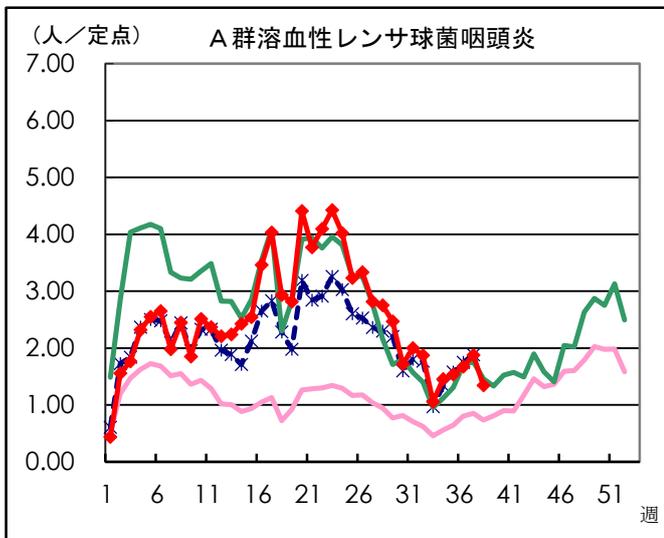
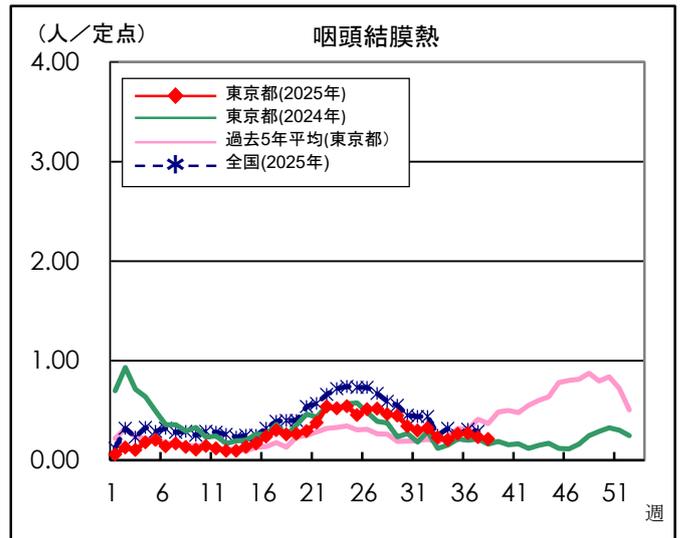
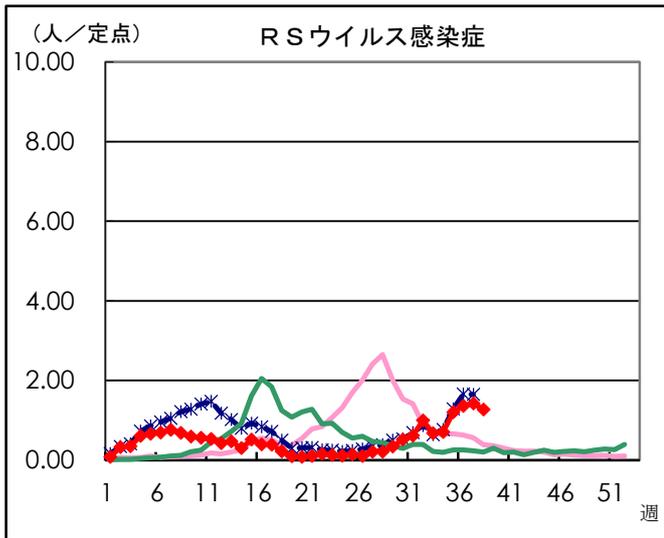
	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	4	14	109									1
中央区	10	15	236		1							
みなと	15	22	415									3
新宿区		28	235		1							4
文京	9	38	543									13
台東	1	10	363									
墨田区	5	34	136					2				2
江東区	36	52	834		1							
品川区	7	27	342		1							
目黒区	8	23	271									
大田区	9	68	713		4							
世田谷	24	83	1,119		5			1			2	4
渋谷区	10	27	196				1					4
中野区	16	53	980									
杉並	14	65	490					2				5
池袋	6	27	419		2			1				
北区	6	67	506									
荒川区	10	32	526		1							
板橋区	7	73	591		1			1				3
練馬区	21	93	913		3							
足立	33	107	1,083		1							
葛飾区	10	46	532							1	2	3
江戸川	12	88	936									
八王子市	20	106	1,894									4
町田市	25	45	1,290									
西多摩	3	38	302									3
南多摩	15	75	672		4							
多摩立川	7	90	677		3							1
多摩府中	39	126	2,000		1			2			1	15
多摩小平	34	111	1,499		5			1			2	17
島しょ		5	41					1				

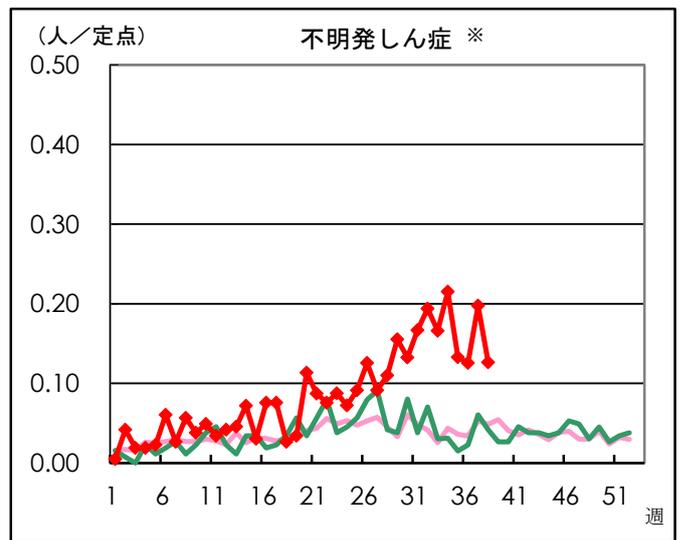
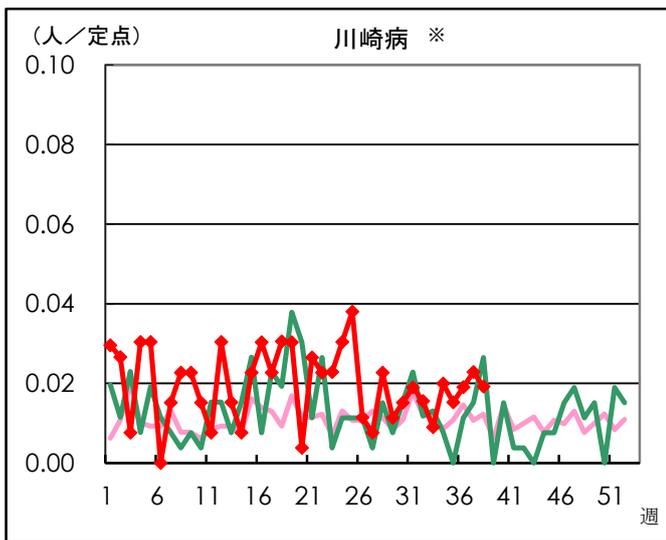
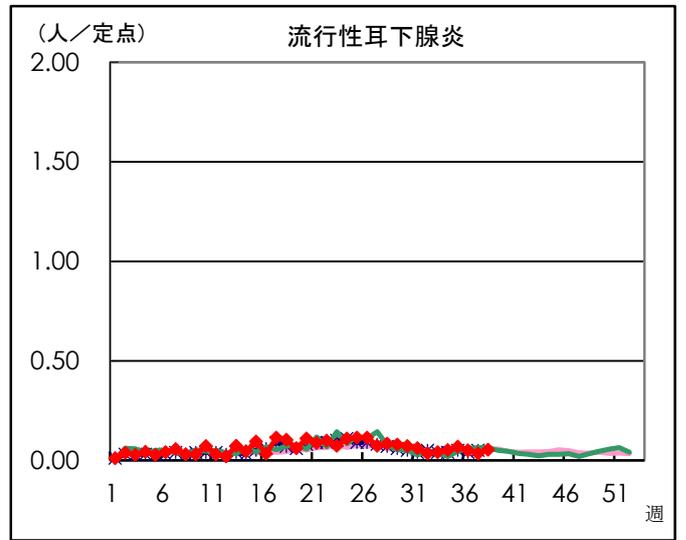
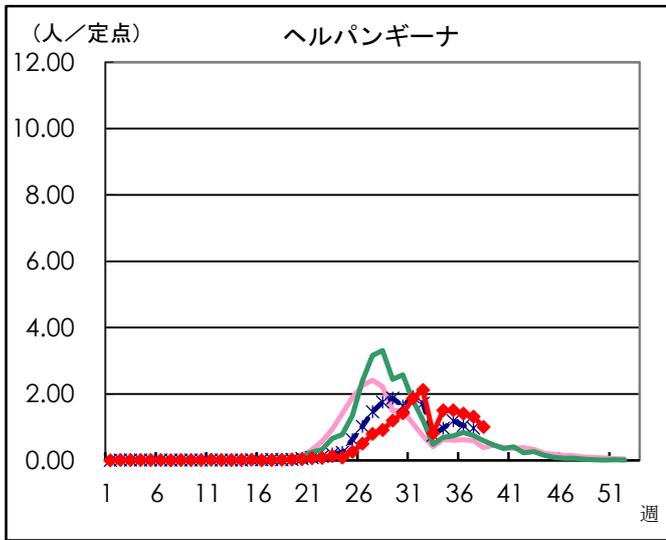
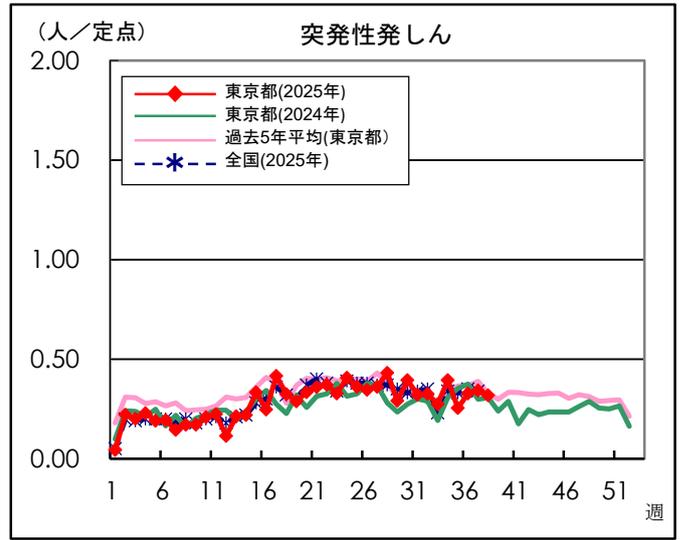
東京都合計	416	1,688	20,863		34		1	11		1	7	82
-------	-----	-------	--------	--	----	--	---	----	--	---	---	----

注: 表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2025年38週 現在)

◆小児科定点

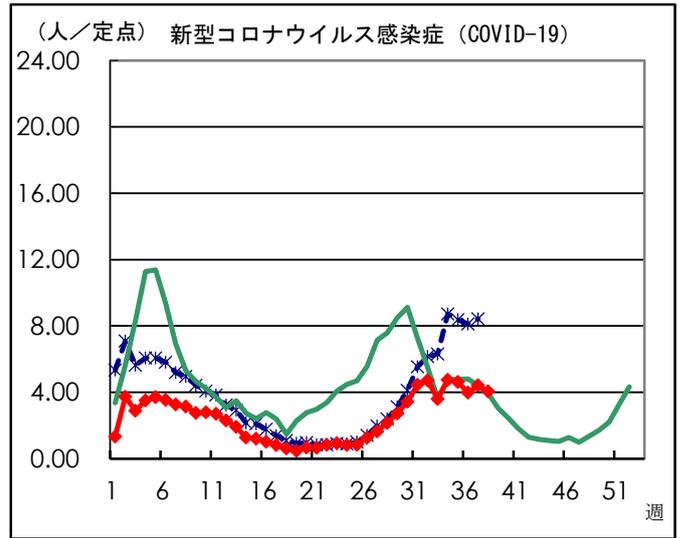
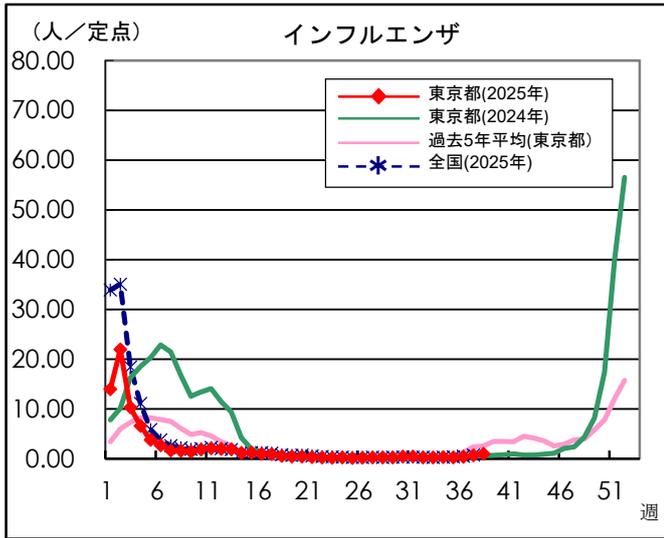




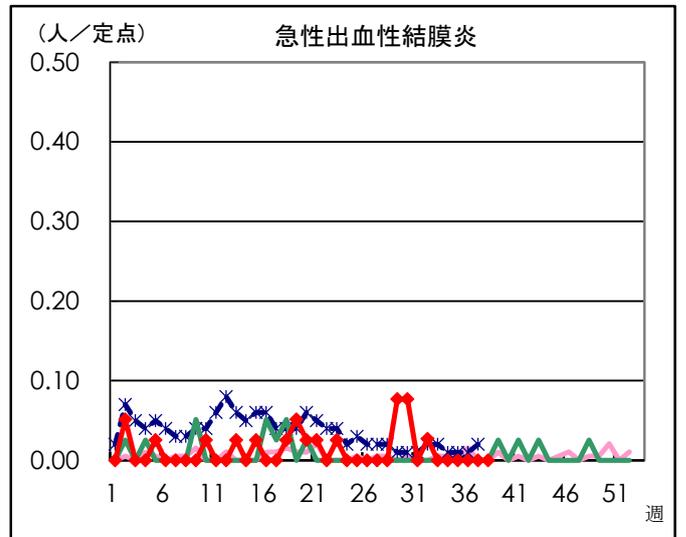
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

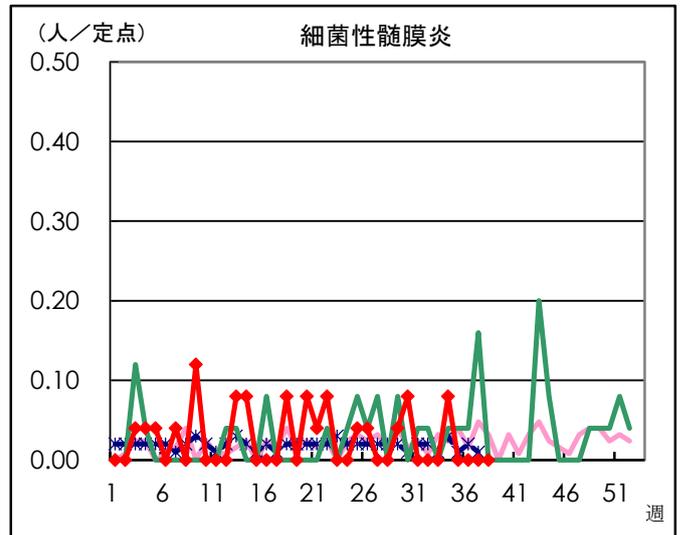
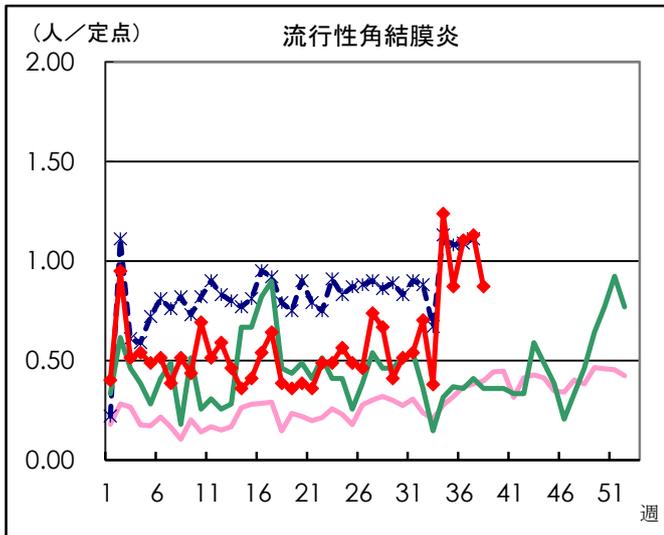
◆急性呼吸器感染症定点



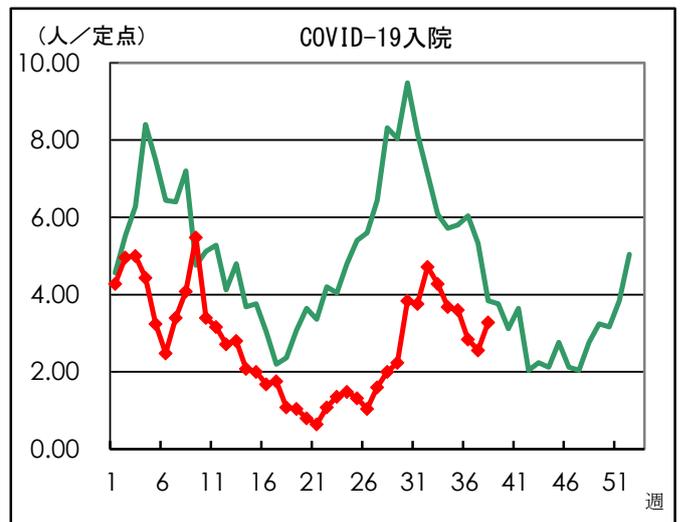
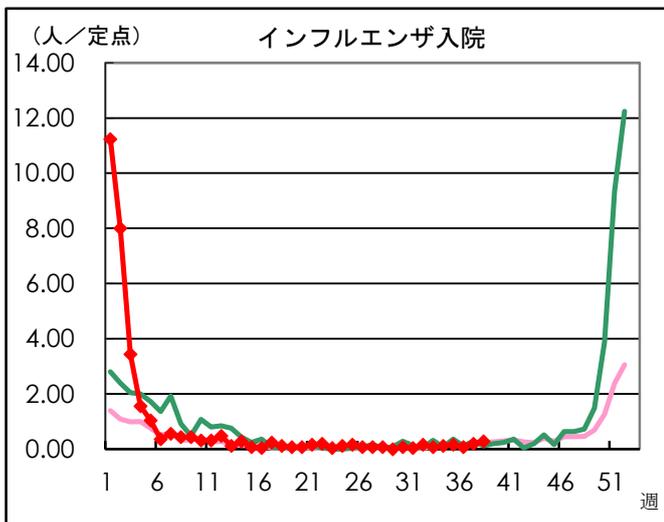
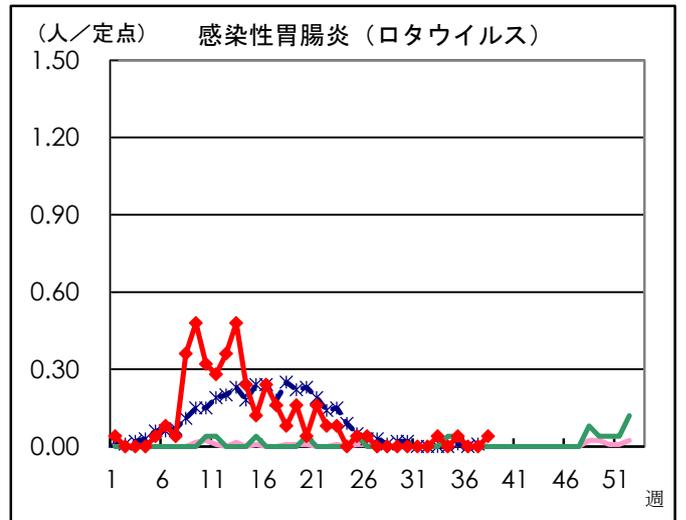
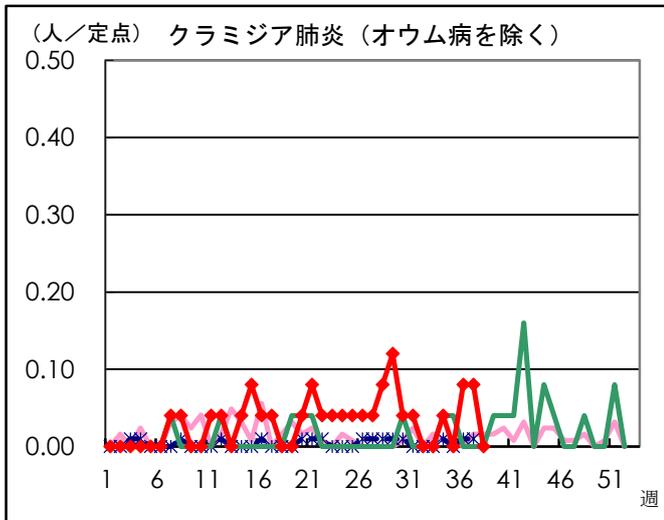
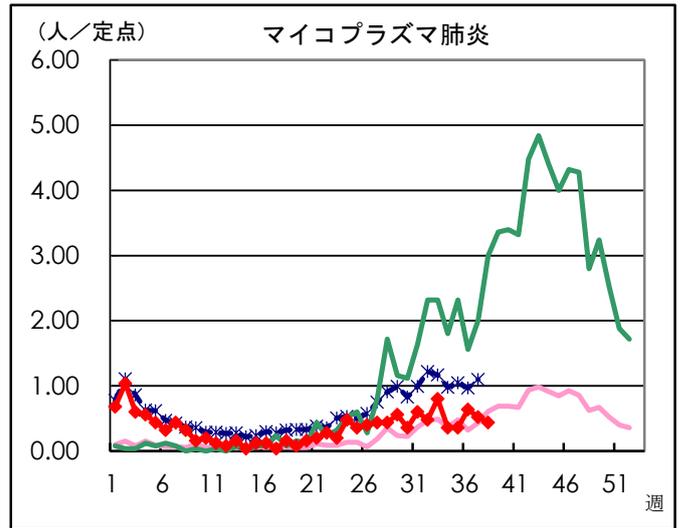
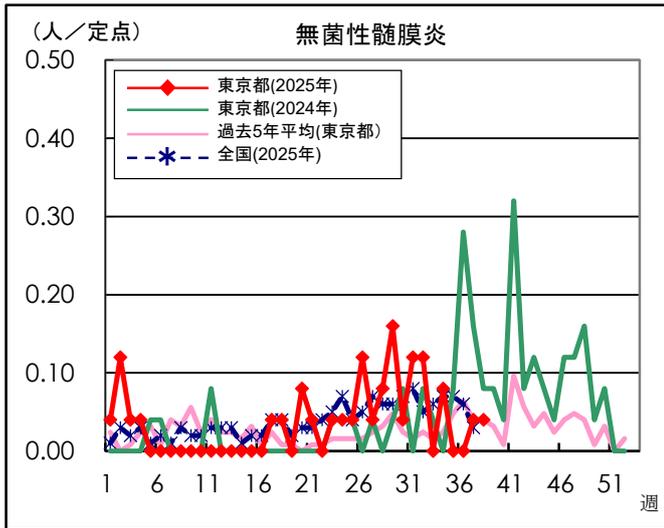
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
8/21	急性呼吸器感染症(その他)	8	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-3型
8/25	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型 ライノウイルス
8/26	急性呼吸器感染症(その他)	9M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
8/26	急性呼吸器感染症(その他)	9M	咽頭拭い液	ライノウイルス
8/26	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス4型
8/26	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	RSウイルスB型
8/27	新型コロナウイルス感染症	64	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
8/27	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型 ライノウイルス
8/28	ヘルパンギーナ	7	鼻咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
8/28	ヘルパンギーナ	41	鼻咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群5型
8/28	新型コロナウイルス感染症	27	記載なし	SARS-CoV-2
8/28	急性呼吸器感染症(その他)	20	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型
8/29	咽頭結膜熱	6	鼻咽頭拭い液	RSウイルスB型 アデノウイルス54型
8/29	新型コロナウイルス感染症	28	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
8/29	急性呼吸器感染症(その他)	3	鼻腔拭い液	パラインフルエンザウイルス2型
8/29	急性呼吸器感染症(その他)	20	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス4型
8/30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
8/30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
8/30	新型コロナウイルス感染症	15	鼻腔拭い液	SARS-CoV-2
8/30	新型コロナウイルス感染症	42	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
9/1	新型コロナウイルス感染症	25	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
9/1	新型コロナウイルス感染症	42	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
9/1	新型コロナウイルス感染症	67	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
9/1	急性呼吸器感染症(その他)	3	咽頭拭い液	ライノウイルス
9/1	急性呼吸器感染症(その他)	3	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
9/1	急性呼吸器感染症(その他)	48	咽頭拭い液	ライノウイルス
9/2	ヘルパンギーナ	8	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群5型
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	RSウイルスA型
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	2	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	2	鼻腔拭い液	RSウイルスB型
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	5	鼻腔拭い液	ライノウイルス
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	6	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	8	鼻咽頭拭い液	百日咳菌(遺伝子)
9/2	急性呼吸器感染症(その他)	9	咽頭拭い液	SARS-CoV-2
9/2	不明発しん症	14	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
9/3	新型コロナウイルス感染症	70	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
9/6	流行性角結膜炎	71	結膜拭い液	アデノウイルス54型

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
記載なし	急性呼吸器感染症(その他)	1	咽頭拭い液	RSウイルスA型 アデノウイルス2型 ライノウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数
36週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2025年36週				
2025-2026年 シーズン累計*				

* 2025-2026年シーズンの開始は第36週(2025年9月1日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2025年							
	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
アデノウイルス	5	3	2	2	2	12	5	2
コクサッキーウイルスA群	3	1	2	4		4	5	2
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス	4	1	3	4		2	1	
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	9	10	17	10	4	8	9	5
ヒトメタニューモウイルス	1	4	1		2			
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス							1	
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1	1		1		2	1	
EBウイルス		1						
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	1		2	1		1		1
RSウイルス	7	8	8	6	2	5	7	3
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス				1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09		2	2		2		3	
インフルエンザウイルスAH3亜型	1					1	2	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統			1				1	
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2	10	11	12	10	6	5	18	5
その他のウイルス	14	16	15	7	2	2	8	2
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型						1		
A群溶血性レンサ球菌T-4型	1		1			1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型							2	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能	1					1		
百日咳菌								1
肺炎マイコプラズマ		1						
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2025年29週～2025年36週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	ヘルパンギーナ	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症(その他)	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性性紅斑	突発性発疹	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	7	5	8	14	16	58	302	11	1	3	3	1	1		23	2	21		3		
アデノウイルス		3					11									1	18				
コクサッキーウイルスA群				10			11														
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス							8			2					5						
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス		1		2			66			1					2						
ヒトメタニューモウイルス							8														
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス									1												
ヒトヘルペスウイルス6型・7型															6						
EBウイルス							1														
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19											3				3						
RSウイルス	6	1					39														
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サボウイルス								1													
インフルエンザウイルスAH1pdm09					9																
インフルエンザウイルスAH3亜型					4																
インフルエンザウイルスB型Victoria系統					2																
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
SARS-CoV-2	1			1	2	58	17														
その他のウイルス	1			1	2		62														
A群溶血性レンサ球菌T-1型																					
A群溶血性レンサ球菌T-3型							1														
A群溶血性レンサ球菌T-4型				3																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				2																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能				1			1														
百日咳菌							1														
肺炎マイコプラズマ							1														
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

再興する百日咳とワクチン戦略の展望

2002～2003年の重症急性呼吸器症候群（SARS）、その後のAH1pdm09インフルエンザやSARS-CoV-2によるCOVID-19は、いずれも「新興感染症」である。一方、最近では麻疹、水痘、百日咳など、予防接種や抗菌薬治療によって減少傾向にあった「再興感染症」が注目されている。

この背景には、1) コロナ禍での感染対策（マスク着用、手洗い、外出自粛）の緩み、2) 感染機会の減少による自然免疫獲得の遅れや集団免疫の低下、3) COVID-19対策に集中した結果、各ワクチンの適切な接種時期の見逃しや誤情報の拡散による接種率の低下、4) 症例経験の不足により診断に時間を要した、5) 社会活動や渡航制限の解除に伴う人流の再開など、複合的な要因が考えられる。

1974年からの拡大予防接種計画（EPI：Expanded Programme on Immunization）により、14疾患に対する予防接種が導入され、1億5,400万人（このうち5歳未満は1億4,600万人）の命が救われ、世界の乳児死亡率は40%減少したと推算される。全ての人々が平等に予防接種を受けられる環境を整えることは、国際的な公衆衛生の要である。

なかでも子どもたちの3種混合ワクチン（DPT）の接種率は、各国の予防接種制度の普及状況や保健医療体制の充実度を示す重要な指標である。世界全体のDPT3回目の接種率は、2023年には84%と、この40年間で約2倍に増えたが、いまだ初回接種を受けていない乳児（zero-dose-children）は1,450万人存在する。

本邦の5種混合ワクチン（DPT-IPV/Hib）の初回接種は生後2カ月のため、それ以前の乳児は百日咳に感染しやすく、重症化や死亡リスクも高い。新生児や乳児の感染源は特徴的な咳症状を欠く年長児や成人である。

本年の感染拡大を契機に、就学前のDPT追加接種の定期接種化や、11～12歳の2種混合ワクチン（DT）をDPTへ切り替えることに加え、既に米国・英国などで導入されている妊婦へのDPT接種によって母子免疫を付与し、乳児を百日咳から守るなど、『百日咳への対策強化』を検討すべき段階にきているのではないだろうか。

（文責 萩原医院（東京小児科医会） 萩原温久）